



第 120 回院内コンサート

日時 : 2025 年 10 月 18 日 (土) 14 時～

場所 : 亀田病院 新館待合ホール



演奏者プロフィール

ささき ふみ

フルート : 佐々木 ふみさん



横浜市出身。愛知県立芸術大学卒業。フルートを友田美智子、村田四郎、寺本義明、庄田奏美、新井力夫の各氏に師事。第15回かながわ音楽コンクール高校の部入選。第16回日本クラシック音楽コンクールフルート部門入選。第1回飯綱ムジカフェスタコンクールデュオ部門第一位。第29回夏期草津国際音楽アカデミーに於いてW.シュルツ氏に師事、ステューデントコンサートに出演。一般社団法人横浜音楽文化協会、横浜市民広間演奏会、戸塚区演奏家協会各会員。



さいき みなみ

ピアノ : 佐伯 水美さん

4 歳よりピアノを始める。桐朋女子高等学校、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。これまでに室内楽を木村徹、鶴園紫磯子の各氏に、ピアノを阿久津映子、花田えり佳、中井恒仁、今井彩子の各氏に師事。第 16 回フレッシュ横浜音楽コンクール一般 S 部門銀賞受賞。一般社団法人横浜音楽文化協会、横浜市民広間演奏会、戸塚区演奏家協会各会員。戸塚区にてピアノ教室を主宰する。



♪ プログラム ♪

★《アルルの女》より メヌエット

ビゼー作曲

フランスの作曲家ビゼーが戯曲《アルルの女》のために書いた音楽の一部を、のちに友人ギローが組曲としてまとめました。その中の「メヌエット」は、優雅でしなやかな旋律が心に残る名曲です。フルートの柔らかな響きが舞踏のような雰囲気を引き立て、聴く人をあたたかな世界へ誘います。

★シチリアーノ

フォーレ作曲

フランスの作曲家フォーレによる《シチリアーノ》は、優雅で少し物憂げな旋律が特徴の曲です。もとは劇音楽のために書かれ、その後フルートとピアノ用にも編曲されました。穏やかに揺れるリズムにのせて、フルートのやわらかな音色が心に寄り添うように響きます。

★七つの子変奏曲

林光作曲

林光(1931-2012)作曲《七つの子変奏曲》は、日本のよく知られた歌をもとにしたフルートとピアノのための作品です。懐かしい旋律が豊かな表情をまとうて展開します。拍子や調性の変化による色彩の移ろいを、ピアノとともに味わえる温かみのある作品です。

★荒城の月

滝廉太郎作曲(幸松肇編曲)

日本の名曲「荒城の月」は、滝廉太郎の作曲による歌ですが、横浜の作曲家・幸松肇による編曲版では、やわらかく美しい旋律が奏でられます。もとはヴァイオリンとピアノのための作品ですが、フルートにもよく合います。哀愁を帯びたメロディと穏やかな伴奏が調和し、郷愁の情景を思う様が描き出されます。

★ハンガリー田園幻想曲

ドップラー作曲

ドップラーはフルート奏者でもあり、多くの協奏曲や小品を残しました。本作品の作曲年は不明ですが、ブダペスト歌劇場に在籍していた頃の作品といわれます。哀愁ある旋律と民族舞曲風のリズムが魅力で、今日では彼の代表作として広く演奏されています。

★アヴェ・ヴェルム・コルプス

モーツァルト作曲(リスト編曲)

モーツァルト晩年の名作です。リストがピアノ用に編曲しました。神への深い祈りを静かに歌う曲です。

★ワルツ4番 Op.34-3 「子猫のワルツ」

ショパン作曲

ショパンらしい優雅さと華やかさのある名曲です。子猫がじゃれている様子にたとえられたことから「子猫のワルツ」の愛称で親しまれています。

★アンダンテ・カンタービレ～アルプスの思い出

ベーム作曲

フルートの名手でもあったテオバルト・ベームは、現在のフルートの仕組みを完成させた人物として知られます。この曲は、アルプスの風景を思わせるような伸びやかな旋律と、華やかな技巧が組み合わさった作品です。フルートの魅力を存分に味わえる小品として親しまれています。

★序奏とロンド

クーラウ作曲

「フルートのベートーヴェン」とも呼ばれるクーラウの代表作のひとつです。荘重な序奏に続き、オペラの旋律をもとにしたロンドが展開します。哀愁を帯びた主題と明るい変化、華やかな技巧が交わり、古典派からロマン派へ移りゆく時代の魅力を感じられる作品です。

お願い：許可のない動画・写真の撮影はご遠慮ください。

なお、感染症拡大の際にはコンサートが中止となる場合もございます。

次回、第121回院内コンサートは2025年11月15日(土)14時00分～